

吉川商店おひさまプロジェクト

株式会社 吉川商店に おひさま発電所が できました

リユースびんの RE100%をめざす
吉川商店におひさま発電所をつくろう！

～ 市民と企業で地域に再エネをふやそう!!



「RE」とは、再生可能エネルギー（Renewable Energy）の意。吉川商店は、使用する電力を再生可能エネルギー100%にすることをめざしています。



株式会社 吉川商店 代表取締役 吉川 康彦

認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドと株式会社吉川商店が協働で進めていた「吉川商店おひさまプロジェクト」は、太陽光発電設備及びエネルギーマネジメントシステム (EMS) の設置が完了、お披露目の点灯式も無事終えることができました。思いがけず多くの方々からのご寄付を賜ったこと、感謝に堪えません。地球環境や自然エネルギーへの関心の高さをひしひしと感じ、改めてその思いをわが社の事業に活かしていきたいと心に刻んでおります。

京都の酒どころ伏見でリユースびんを洗浄してきた 60 年の営みは、温室効果ガスの大幅な削減、さらには RE100 をめざして新たな展開が期待されていると感じます。

今回のプロジェクトでの皆さんからのご賛同を励みに、持続可能な社会を不断にめざしていきたいと考えています。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。



認定 NPO 法人 きょうとグリーンファンド 理事長 松岡 憲司

株式会社吉川商店のみなさま、おひさま発電所の完成、おめでとうございます。

きょうとグリーンファンドと企業が協力して完成した初めての設備、お手伝いできたことをうれしく思います。きょうとグリーンファンドがお手伝いした「おひさま発電所」としては、2ヵ所になりますが、おひさま発電所は、地域の施設にこだわって設置してきました。それは私たちの毎日の暮らしが、地球の未来に関わると思うからです。

パリ協定も正式にスタートし、ますます再生可能エネルギー利用の重要性が高まっております。利用拡大には、身近なところからの地道な活動が基本となるでしょう。吉川商店おひさま発電所がそのような活動の拠点となりますよう、きょうとグリーンファンドもできる限りお手伝いを続けていきたいと思っております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

発電所作りスタート!

吉川商店おひさま発電所 計画始動!

企業とコラボした初めてのおひさまプロジェクトのスタート! 「洗びん」という環境負荷の低い事業を生業とする吉川商店とともにおひさま発電所設置を進めます。すでに 130kW という太陽光発電パネルが自社工場に設置されています。

チラシ配布

寄付を呼びかけるチラシ……寄付募集をきっかけにみんなで地球温暖化、省エネについて考えてもらいたい、そして、RE100 を目指す吉川商店の取組を広く知ってもらいたい、そんな気持ちで寄付を呼びかけるチラシを作りました。



点灯式! ……おひさま発電所のお披露目です。



いよいよ点灯式、「おひさま電気」のお披露目です。



京都府 環境部エネルギー政策課副課長 高見英伸様よりお祝いのお言葉をいただきました。



『そろそろ本気で「持続可能な社会」を作っていきませんか?』講師の鈴木さんの問いかけ……「みんなでつくるおひさま発電所」が一つの答えとなるように取り組んでいこうと気持ちが入ります。



5、4、3、2、1 さあ点灯!! 吉川商店の工場で洗びんしている一升瓶にイルミネーションが輝きました。



看板贈呈 立派なヒノキの板、この木の重みがおひさま発電所に込めた、みんなの期待の重みです。



点灯式の参加者みんなで、記念撮影。



洗びん工場見学。



エネルギーマネジメントシステム (EMS) 計測器。事務所のエアコンを自動でコントロールし、省エネに役立ちます。災害時など太陽光発電の自立運転時には左のコンセントから電気を供給できます。



参加者の皆さんも「吉川商店おひさま発電所」へのそれぞれの思いを込めて、名前を書きました。



「吉川商店おひさま発電所」の屋根に設置された 56 枚の太陽電池。これから 20 年以上、RE100 を目指して発電し続けます。



バンザイ!!! 未来に続け、おひさま発電所。

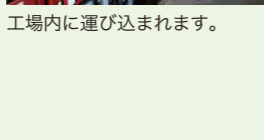
びんは、こうして洗われます



酒販店・市内の回収拠点。



びん商さんが集めた一升瓶が並んでいます。



工場内に運び込まれます。



目視で割れていないか、油などが入っていないか確認。



18 本一度に洗浄できる大きな機械で洗浄します。



洗浄したびんをラベルが取れているか、割れていないか人の目で確認。



「洗いびんに異物はダメ」異物が入っているびんはよけられます。



センサーと人の目で確認して、汚れや異物は見逃しません。



洗上がったびんは何度も検査され、P 箱に入られます。



P 箱に入れられた洗びんが倉庫に積み重ねられています。



酒造メーカーなどに運ばれ、再使用されます。



びんの入っていた P 箱は別のラインで洗浄されます。



P 箱も機械で洗浄します。



取り切れないシールなどは、手作業で丁寧に取ります。



割られたびんは原料カレットとして、新しいびんの材料になります。

事業の概要

この事業は、株式会社吉川商店と認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都市伏見区に、市民共同で太陽光発電設備とエネルギーマネージメントシステム (EMS) を設置しました。

費用は、市民からの寄付・設置協力金、きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」、株式会社吉川商店の資金 (京都府再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金を含む) でまかないました。

設置後は、吉川商店ときょうとグリーンファンドが協力して、さまざまな活動を進めていきます。

後援

京都府、京都市、京都府地球温暖化防止活動推進センター、特定非営利活動法人 KES 環境機構、
京のアジェンダ 21 フォーラム、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 (京エコロジーセンター指定管理者)、
京都市ごみ減量推進会議、KGPN (旧: 京都グリーン購入ネットワーク)

協力

認定 NPO 法人気候ネットワーク、認定 NPO 法人環境市民、有限会社ひのでやエコライフ研究所、
伏見おひさま市民の会、ふしみ Ba

導入する設備

CIS 薄膜系 太陽光発電設備 (10kW 規模)

発電所データ

設置場所: 株式会社 吉川商店	総事業費: 約 451 万円
設置日: 2018 年 10 月 25 日	寄付額: 332,000 円 (50 件)
発電能力: 10,360kW	設置協力金: 70 万円 (7 口)
発電量: 約 11,000kWh / 年	寄付募集期間: 2018 年 8 月 1 日 ~ 2018 年 11 月 25 日

株式会社 吉川商店

京都の酒どころ伏見で一升びんを中心とするリユースびんを洗浄する工場を営み 60 年。使い捨て容器が当たり前となり便利な生活を享受できるようになった反面、さまざまな課題が表面化しています。化石燃料に依存する社会はそう長くは続きそうになく、いずれ転換を余儀なくされる時代になるでしょう。

京都で回収した一升びんを弊社で洗びんし、再使用した場合の温室効果ガスの排出量は、新びんを使った場合と比べ約 9 割もの削減効果があり、さらに太陽光発電などを活用すると温室効果ガスの排出は大幅な削減が可能です。容器のなかで RE100% が可能なのはリユースびんだけなのではないでしょうか。皆さんと共に持続可能な社会をつくりましょう。

特定非営利活動法人 (認定 NPO 法人) きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、省エネ型の社会と暮らしをめざし、自然エネルギーの普及に取り組んできました。寄付を積み立てた「おひさま基金」を活かし、多くの方々と協力して、環境に配慮した地域づくりの拠点となる「おひさま発電所」を広げていきたいと、これからも活動を続けていきます。2016 年 12 月までに 21 カ所のおひさま発電所が出来ました。

おひさまでんきプロジェクト ~ あなたの電気代からおひさま発電所がうまれます!

「必要なエネルギーは、太陽光や風力などの再生可能エネルギー (再エネ) で 100%まかなう社会をめざそう」という想いから、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドと太陽ガスグループ (新電力会社) がはじめた共同プロジェクトです。

太陽ガス (関西地区代理店 Happy Energy) に毎月支払う電気代の一部が、おひさま発電所設置のために還元される仕組みです。再エネ 100%をめざす電力会社から電気を買うことで、さらにおひさま発電所を増やしていきましょう!

● このプロジェクトは、「おひさまでんきプロジェクト」のひとつとして、太陽ガスグループが応援しました。

株式会社 吉川商店

〒612-8466 京都市伏見区下鳥羽
城ノ越町 70 番地
Tel: 075-611-3211 (代)
Fax: 075-611-3216

特定非営利活動法人 (認定 NPO 法人)

きょうとグリーンファンド

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町 21 番地
事務機のウエダビル 206
電話・FAX: 075-352-9150
E-mail: info@kyoto-gf.org
URL: http://www.kyoto-gf.org

この印刷物は
自然エネルギー
(太陽光) を
活用して
印刷しました。

